

■ 一次審査結果の審議過程について

■ 審議経過について

提案図書は、新たな整理番号を伏して、設計者が特定されない状態で審査が始められた。

1. **第1回目** 163件について審議

各委員（7名）が10から15点ほど自由に選定
（ポストイット貼）

その結果、（点数表）

5票 1件

4票 1件

3票 9件

2票 10件

1票 35件

計 56件 を選定



2. **第2回目** 56件について審議

各委員が選定した56件のうち、1票しか入らなかったものについて、各委員の意見を聞きながら審議、意見交換等を行う。

（提案内容、全体のバランス、現実性等を考慮し、1票のものについて審議）

1票の35件を委員全員で審査し、14件に絞り込みを行った。そして、この14件と5票から2票までの21件とあわせ35件に絞り込んだ。

その結果

No. 10, 14, 16, 21, 23, 24, 34, 41, 42, 45, 52, 53, 57, 62, 63, 74, 77, 79, 81, 93, 97, 101, 108, 113, 122, 124, 127, 132, 133, 136, 140, 147, 150, 151, 154

計35件を選定。



3. **第3回目** 35件について審議

35件について、各委員が各5・4・3・2・1点（5枚）のポイントを持って再度審査を行う。

その結果、

No. 10, 16, 21, 23, 34, 42, 52, 53, 57, 77, 93, 97, 101, 113, 122, 124, 127, 136, 147, 150

の計20件を選定。



4. **第4回目** 20件について審議

20件のうち、点数が1点、2点、3点のものについて、現実性等様々な点を踏まえ審議し、14件に絞り込む。

その結果、

No. 10, 21, 23, 34, 42, 57, 77, 93, 97, 101, 113,
122, 124, 150

の計14件を選定。

5. **第5回目** 14件について審議（壇上に配置し、1件ずつ審査）



14件のうち、実現性等を踏まえて全委員が審議し、7件を選定する。



その結果、

No. 34, 42, 77, 93, 113, 124, 150を選定。

（この時点で委員長により設計者氏名を公表する。）

下記のポイント等を踏まえ、二次審査へ進む入選者が選定された。

- ・ 地形とのバランス
- ・ 平面、配置の考え方
- ・ 機能に対する配慮
- ・ 構造に対する考え方
- ・ 素材の使い方
- ・ 実現の可能性
- ・ 地域性に対する配慮
- ・ 図面とレポートから受け取れる意欲

6. 佳作者の選定

佳作者については、第2回目の35件（入選者7件以外）を対象に、将来性、独創性、先進性等を中心に再度審議し、14件を選定した。

その結果、

No. 10, 16, 21, 53, 57, 74, 97, 101, 122, 127,

1 3 2 , 1 3 3 , 1 4 7 , 1 5 4 の 1 4 件を選定

7 . 二次審査について

二次審査の実施方針について、委員全員で協議を行った。